

自然エネルギー100%プラットフォーム

プラットフォーム助成

2年目

知識の提供・普及啓発

自然エネルギー100%宣言 **15件**

再エネ100%関連報道 **357件**

今年度計画の達成度 **70%**

目標達成度 **60%**



再エネ100%国際シンポジウム(8月)

活動内容と成果

気候変動問題やSDGsに鑑み、再生可能エネルギー中心の政策への転換を実現するため、自然エネルギー100%宣言・賛同を集め、その動きを可視化している。また、COPなどの国際会議の機会に、再エネ強化の提言を続けている。2018年8月23日に千葉商科大学で開催することができた、再生可能エネルギー100%シンポジウム(共催：外務省、環境省、イクレイ日本、Japan-CLP、CAN-Japan)は、市民社会セクターを超えた大きな連携と巻き込みの成果だったといえる。

課題

パリ協定の実質排出ゼロ目標のため、世界では再エネ100%の潮流があるが、日本では再エネ調達及び制度の見通しが不透明であるとして、躊躇する主体が多い。

目標

2019年度までに、国内の自然エネルギー100%宣言と賛同をそれぞれ100集め、本プロジェクトのウェブサイトで紹介し、提言を行う。



COP24 Katowice 会議に参加・提言

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

自然エネルギー100%のビジョンに対する見通しを得られるようにすること。

■ 工夫した点

自然エネルギー100%宣言するためのガイドを作成し、ウェブサイトに掲載したこと。

| 活動地域 | 日本全域

〒604-8124
京都府京都市中京区帯屋町574番地
高倉ビル305号
電話：075-254-1011
E-mail：secretariat@can-japan.org
<https://www.can-japan.org>



今後の
展望

各地で自然エネルギー100%に関するイベントを企画し、多様なアクターを結びつけ、さらなる自然エネルギー100%のトレンドを創出する。また、COPやG20サミットへの参加・提言も継続する。

